

# 北海之光

9月号 北海道教区報

どのような道を歩むときにも主を知れ  
主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる

箴言3章6節

発行所 北海の光社  
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 笹森田鶴



## 「主の愛する者も病気に…」

小樽聖公会牧師

司祭 ヨハネ 池田 亨

主イエスから名を呼ばれ死  
からののちへと呼び出された  
男がいた。その名はラザロ(神  
は助けたもうたの意)。彼は  
病死し、墓に葬られた。そし  
て、その後、四日も経って亡  
骸は朽ちかけていた。

ある病人がいた。…ラザロ  
と言った。

ヨハネ福音書一一…一  
ラザロは沈黙の人。彼は病  
人として登場する。何の病い  
かも分からない。彼には言葉  
なく、声もない。人柄も職業  
も分からない。福音書からは  
彼がベタニアのマルタとマリ  
アの兄弟であったという少な  
い情報しか得られない。

ただ、知り得ることと言え  
ば、主イエスに愛されたと言  
う事実。それがラザロだ。主  
に愛された者はたとえ死んで  
も、その関係性は失われない。  
なぜなら主イエスのいつくし  
み、言葉をかえれば、いのち

の関係性は絶えることなく死  
を越えて永遠だからである。

イエスは、マルタとその姉  
妹とラザロを愛しておられ  
た。

一一…五

「主の愛する者も病気になる」。  
私が未だ若かったころ、  
ある説教集を読んでいて心に  
ふれた言葉である。敬愛する  
恩師を重い病いで失って悲し  
みに打ちひしがれていた時期  
であった。その言葉に慰めを  
得た。そして、長い時を経て  
私も病いを得た。痛みと不安  
の病床で想い起こし、その言  
葉に支えられた。

なぜなら、キリスト者は重  
い病いを患う中で自分自身を  
責めることになりがちだから  
である。己が愛の欠如、何よ  
りも神に対する不信、罪。そ  
れによって罰として病いを  
患ったのではないかと…。  
しかし、福音はそのような

思いから私たちを解放する。  
主イエスは病いのラザロを愛  
し、病いの私たちを、この私  
を愛したもう。それは揺るが  
ない。たとえ、私たちの信仰  
が揺らごうとも、病いに負け  
てぼろぼろになるうとも。

福音書は主イエスを主語と  
して、福音記者の言葉として、  
さらに第三者の言葉として、  
主イエスがラザロを愛してお  
られたことを伝える。何度も  
繰り返す。すなわち、その存  
在の貴さ、大切さを。

そのように、主は私たちを  
愛したもう。

イエスは、はっきり言われ  
た。「ラザロは死んだ…」

一一…一四

主イエスの愛する者も病気  
になり死に至る。  
共観福音書には主による病  
人の癒しの記事を数々見出  
す。それは幸いな結末。

あのヤイロの娘を死からい  
のちへと手を取って立ち上が  
らせたお方は主ではなかった  
か。ナインの寡婦の一人息子  
にしても、然りである。なの  
に、ラザロは…。

ラザロの場合は悲劇的結末

を迎えた。手遅れの死。主イ  
エス不在のなかで。  
主によるラザロへの厳肅な  
死の宣言がなされたとき、ラ  
ザロは本当に死んだのだ。死  
の絶対性が響きわたる。

しかし、いのちへの可能性  
が全く絶たれた「死」から、  
主イエスは神の栄光の結末の  
ため、人々が神を信じるため  
にベタニアへと行動される。  
物語の結末。ラザロを葬つ  
た墓、その死への入口がいの  
ちへの出口に変えられる。復  
活の主、いのちの主イエス

(一一…二五) によって。

「ラザロ、出て来なさい」と  
大声で叫ばれた。

一一…四三

天を仰ぎ、父なる神に感謝  
と信頼の祈りをささげ、主イ  
エスは愛するラザロの名を呼  
ばれた。あたかも天からの息  
を大きく吸って吐くが如く。  
しかも大声で。おそらく目に  
涙を溜めながら。

それは、いつの日か、主が  
私たち一人一人の名を呼ばれ  
ることにつながっている。



「心の窓をひらく」

# 福音と私(二八四)

—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

聖マーガレット教会信徒

アグネス 石塚 尚子



## 「私の好きな聖句」

あなたの若い日に  
あなたの造り主を覚えよ

(伝道の書二二章一節)

## 聖マーガレット教会に 養われて

帯広の「連青」で出会った津田の両親ですが、私が二歳になったばかりの頃に来た札幌でも二回の引越し、後に小一で北見に転勤になります。その後小三で札幌に戻り、小六で帯広、中三でまた札幌にきました。この時に北星学園女子中に編入し高校に進みましたが、また高三で釧路に転勤となりました。幼稚園二、小学校四、中学二回の転校生。その間の引越は一〇回を数えています。釧路の転勤が決まった時に高三と高二の妹

と私は、当時マーガレット教会の隣にあった聖マーガレット館に入ること。家の手伝いも口にしたことのない世間知らずの娘二人を置いてさつさとしてしまった両親は、何を考えていたのかとも思いません。ちなみに父の転勤は二、三年おきの夏休み中で、お友達に「さよなら」を言う暇がありません。

遊んでいたこと、ジャンボー ルセルという名でアメリカから送られてきた品々でバザーがあり、素敵なスカートを買ってもらったこと、「曳家」で教会を動かしたこと、教会の二階は渡辺司祭家族のお住まいだったこと、GFSがあったこと、高校時代は親と離れて毎週土曜日のグロリア会に加わり、礼拝堂のお掃除や燭台磨き、お昼当番でおにぎりを握ったり、クリスマス、有珠のキャンプと楽しかったことが思い出されま

ターやミカエルの青年がやって来ました。毎週金曜日夜は渡辺主教の晩禱式、主日はマーガレット教会の礼拝に出席し、祈禱書の使い方、聖書の読み方、ローソクの付け方消し方など知らない事はかりでした。週報印刷や祭壇奉仕のお手伝い、青年会(枝会)の仲間入りもさせて頂きました。

教会の方々のお交わりが子育ての貴重な経験となり、教会中心の毎日でした。

転勤続きの両親も退職後は札幌に戻り近くに住み、同じマーガレット教会での信仰生活を送れたのが何よりのお恵みだったと感謝です。両親はそれぞれ思いがけないかたちで主のもとへ。石塚も送りま

さかの六〇代での一人暮らしとなつてしまいました。けれど神様は一番良い道を与えてくださったのだと今になって思います。その時は何も分からずつぶやいてみたり、あきらめ半分でほんやりしてばかり。けれど後になって気づかされる様々なお恵みに、生かされ用いられています。決してなるようになるのではないのだと確信させられる小さなひとつひとつです。この数年、コロナ禍での様々な制約は、私の数年間のマーガレット館での養いを思うと取り返しのつかない「何か」を感じます。これも神様のご計画の中にあるのだとしたら、今ここに

常置委員会報告  
第一〇回 八月二二日

《協議事項》

一、聖職候補生志願者、横山光紀さんとともに歩む「見守りのプログラム」にかかわる経費を、神学生養成資金から支出することとした。

二、大韓聖公会ソウル教区主教按手・就任式に際して、お祝い金を差し上げることとした。

三、チェジュ教会「日韓友情の家」建築募金に対して、教区より一〇万円を支出することとした。また、各教会に趣

意書を送付すると共に、チェジュ教会についての学習・周知の会を設けることとした。

四、第八四(定期)教区会の教区会書記に上平更司祭、松井新世司祭を、教区会計に橋本知樹さんを選任した。補助書記に宮本道子さん、吉谷

かおるさん、福富牧子さんを選任した。

五、新札幌聖ニコラス教会の教会内暖房設備更新、および窓開閉蝶番の修理に関する修繕費用に係る融資の申請を承認した。

六、教区手持ち資金の運用について協議した。

七、旭川聖マルコ教会からの音楽プログラム実施に関する宣教活動協力資金の申請について承認した。

八、来年度予算の骨子について確認した。



主教室から

今年、英国聖公会での女性の司祭按手から三〇年、主教按手から一〇年、カナ

ダ聖公会での女性の主教按手から三〇年、米国聖公会での女性の司祭按手から五〇年、そしてアングリカン・コミュニオンでの初めての女性の司祭按手から八〇年という記念の年です。そして八月一日、フィリピン聖公会では女性の司祭按手三三年記念礼拝がささげられ、説教者として参列してきました。按手三〇年の企画がコロナ禍により延期と

なっていたのですが、三年前でしたら呼ばれることもなかったかも知れないと思うと、神さまのなさることの不思議を思わざるを得ません。

今から三五年程前の学生時代、ほぼ一年間フィリピンに滞在していた折、マニラの聖アンデレ神学校教員としてジュリエット・タクロバオ執事が活躍されていました。その司祭按手を記念したのがこの度の礼拝です。また他にも同世代の女性の教役者が当時複数おり、その後次々と司祭に按手されたことを知ったことも嬉しい出来事でした。

現在フィリピン聖公会では八〇名程の女性の聖職があり、全学年百名ほどいる神学生の半数は女性たちであることは驚くべきことでした。一方、女性の主教はフィリピン聖公会ではおらず、彼女たちとの出会いは相互に心動かされる貴重な経験となりました。台風の

ためのフライト延期も女性たちとじっくり話す機会ともなりました。性に関わりなく十全に役割を担っている共同体の姿は、センターの課題のある社会に向かっている大きな宣教の発信となります。それはセンターのみならず、多彩な社会形成のモデルとなりえます。今、日本聖公会やフィリピン聖公会で奉職している女性たち一人ひとりを思い起こしながら、それぞれの管区が多彩な社会形成に寄与し、主の平和と正義の具体的な器となっていくことを心から祈り求めます。そして女性たちを含めた一人ひとりの物語が歴史を担う主体であることを覚えたいと思います。

この機会を与えてくださった北海道教区の皆さまに、また主に心から感謝します。

主教マリアンナ・笹森 田鶴

十 教区逝去教役者  
記念聖餐式

一〇月九日(水)

午前一時三十分  
於 主教室聖堂

次の方々を覚えて祈ります。  
どなたでもご参列ください。

司祭 森 安延 衛

一九四五年一〇月九日  
主教 八代 斌 助

一九七〇年一〇月一〇日  
伝道師 笠 間 伊太郎

一九〇一年一〇月一日  
司祭 芥 川 寿 哉

一九七五年一〇月二〇日  
伝道師 石 川 光 子

一九六八年一〇月二二日  
司祭 江 口 博

二〇〇三年一〇月二二日  
司祭 藤 井 八 郎

二〇二三年一〇月二七日



# 二〇二四年八月九日～一二日 北海道教区ユース・キャンプ報告

北海道教区 青年担当

司祭クリストファー 永谷 亮



駒ヶ岳を望む大沼でカヌー体験

コロナ禍により二〇一九年を最後に休止していた北海道教区の夏の青少年プログラムが五年ぶりに開催されました。今年には北海道教区宣教一五〇年にもちなんで会場を函館地方とし、大沼公園の「ネイパル森」を中心に活動しながら、主日には函館聖ヨハネ教会、今金インマヌエル教会の礼拝に参加しました。また、東北教区との宣教協働の一環として、スタッフ・参加者各二名をお迎えし、北海

道教区からは参加者一五名、スタッフ五名のほか、プログラムの前半には笹森主教も参加くださり、総勢二五名の参加に恵まれて、皆さまの守りのうちに無事に終えることができました。開会礼拝のときにあつた緊張感は時間とともにやわらいで、最終日にはすっかり打ち解けていたように、キャンプ終了を惜しむ声も聞こえました。今回のキャンプを通じてのすべての出会いが、イエスさまのみ手のうちに豊かにされたことを感謝いたします。また、両教区、各教会の支援と、歓迎し支えてくださった函館、今金の教会の皆さまにも深く感謝いたします。

＋＋＋  
ガブリエル中村 和  
(東北教区・盛岡聖公会)

今回のユースキャンプでは、北海道教区のたくさんの人と関わる事ができ、また

普段の生活では体験できないことを大自然のなかで楽しく体験することができました。

キャンプ初日で印象に残っていることは、とても緊張していたことです。でもキャンプに参加するみんなと自己紹介やアイスブレイクをして楽しくお互いのことを知ることができ緊張もやわらぎました。二日目は楽しみにしていたカヌー体験のほか、臨床アート体験や主教アワー、BQがありました。みんなで準備をし、たくさん話をしながら仲を深めることができたBQはとても楽しかったです。また、主教アワーでは、笹森田鶴主教の「なぜこの仕事についてなのか？」のお話のなかに学生時代の話題もあり大変興味を持ちました。三日目は函館聖ヨハネ教会で礼拝をしたあと、今金インマヌエル教会で礼拝をしました。今金の教会は自然のなかであり、いつもと違う環境で新鮮な気持ちで礼拝に参加できました。

このユースキャンプを通じて新しいことを体験し様々な年代の人たちと関わる楽しさ

を改めて感じ、とてもいい勉強になりました。笹森主教はじめ北海道教区のみなさん、そして送り出していただいた東北教区のみなさん大変ありがとうございました。ごさいます。

＋＋＋  
セシリア成澤 穂香  
(北海道教区・札幌聖ミカエル教会)

八月九日～一二日まで行われたユースキャンプに参加しました。北海道教区だけでなく東北教区の方々と一緒に過ごす事は初めてだったので、不安と緊張の気持ちが強かったです。でも、初日にアイスブレイクや自由時間でUNOや人狼などのゲームをする機会があつたおかげで、すぐに皆と仲良くなる事ができました。

一〇日は、カヌー体験と臨床アートをを行いました。臨床アートでは、函館聖ヨハネ教会の中村まゆみさんのご指導の下、クレヨンやスクラッチアートの表現手法を用いて絵を描きました。皆の絵がカラフルに描かれていて、とても綺麗でした。午後は主教アワーがありました。笹森主教様に皆が考えた質問に答えて

いただきました。好きな聖書の箇所や主教になった経緯についての他に、主教様のヘアスタイルについての質問もあり、とても盛り上がりました。主教様をより身近に感じる事ができた時間でした。

一日は、函館の教会見学や聖餐式を行い、他教派の教会も見学する事ができました。ハリストス正教会の建物や今金での聖餐式が印象的でした。

今回のユースキャンプを振り返り、北海道教区の方々だけでなく東北教区の方々と交流できた事はとても良い経験となりました。今後も、様々な形で交流していけたらと思います。



主日礼拝後、函館聖ヨハネ教会にて



# 宣教一五〇年実行委員会報告

(18)

司祭 サムエル 吉野 暁生

みなさんこんにちは。宣教一五〇年実行委員会です。宣教一五〇年記念礼拝が終わり、もう一五〇年は終わらね、なんて思っている人はいませんか。まだまだ今年いっぱいが一五〇年の年。そして来年以降に続くプログラムもあります。みなさまどうぞ、ご理解とご参加をお願いいたします。それでは、プログラムの報告とご案内をいたします。

まず「黙想会」の第四回が留萌キリスト教会で八月三日に行われました。今回は最終回。網走聖ペテロ教会で一〇月五日(土)に行われます。飯野先生の指導で「詩から観る信仰」というテーマで行われます。申し込みは網走聖ペテロ教会までお願いいたします。また、昼食の準備や補助の準備の都合がありますので、極力申し込みの上、ご参加ください。

続いて宣教一五〇年講演会「アイヌとキリスト教」の最終回が一〇月二日(金)に北大学術交流会館で行われます。こちらはまだ間に合います。ネット視聴もできますので申し込みの上ぜひご参加ください。

そして「北海道教区宣教協議会」の第一回がいよいよ一〇月一四日(月・休)に開催されます。以前にお願いしたアンケートをもとに「各教会のものがたり」を大いに語っていただきます。「宣教協議会」と銘打つてはいますが、宣教の特効薬を探すのではなく、北海道教区の各教会の「現状」を分かち合うところから始めます。いろいろなお話を聞いて、これからの北海道教区をゆっくり考えていきましょう。

最後に、宣教一五〇年のグッズ、各教会にカタログと申込用紙をお送りしています。良いものがそろっていますので、ぜひご購入ください。教会からのクリスマスプレゼントにもどうぞ。それではまた、次回お知らせです。

## 能代キリスト教会



秋田県の北に位置し日本海に面している。宣教開始から一〇〇年を迎えている。米代川の河口にあり昔は木都として栄え秋田杉の産地でもある。以前は幼稚園や女学院もあったが大火により焼失し一九五七年再建。先の北海道教区植松主教様の叔父にあたる金蔵師が一九三一年から一九五七年迄勤務された。教会の再建に長い間取り組まれた。隔月一回のレコードコンサート開催や近隣の方々へホールの貸出をして地域との繋がりに務めながら宣教活動を行っている。



## 施設職員研修会報告

釧路頌栄保育園園長

ミカエル 前田 博美

今年の施設職員研修会は「愛される子ども達」のため！というテーマで七月二九日は苦小牧で、七月三〇日は平取バチラー保育園を会場に行われました。「チーム北国」のメンバーから盛岡の「聖パウロ幼稚園」坂水かよ園長先生と菊池和香子教頭先生も研修に参加してくださいました。感謝です。

さて、一日目は帯広聖公会大町信也司祭を講師にお招きし「神様の祝福に包まれて育つ」というテーマでお話していただきました。初めに聖公会という教会・社会福祉事業・北海道の施設についてのお話があり聖公会の歩みについて初めて知った先生方も多かったことでしょう。その後「すべての生命は、神様が創り、守り、育ててくださる。誕生日の祝福は、子どもが無条件で自分が愛されていることを知り、この世に無条件で歓迎されていることの印である」というお話があり、絵本「ロバのシルベスター」とまほうの小石」の読み聞かせの後「主の祈り」についてのお話を分かち合いました。久しぶりに対面での研修会・交流会を行うことができ、満たされた気持ちでいっぱいになりました。準備してくださった皆様ありがとうございました。

この後八月一、二日の東北教区保育者大会に参加する機会に恵まれました。テーマは「こころをすまして〜ともに感じ、共に育つ〜」でした。盛岡大学石川先生から「この世の中で最も不確実なもの、正しいとは限らないけど確実な光を放つ子どもからのもっと感じなければならぬ」というお話がありました。今回二つの教区の研修会に参加させていただきましたが、「神様から託された子ども達を大切にしていこう」という思いは同じです。

これからも教区間での交流を深め、子どもたちのために情報共有を行っていきたく強く感じました。





で元気に練習開始です。

▽岩見沢聖十字教会

八月一日、越山健蔵司祭  
司式による聖餐式。逝去記念  
礼拝が行われました。正岡辰  
郎(ときお)兄は巻物に書か  
れた旧美唄の信徒の名を聖堂  
に響き渡る声で読み上げまし  
た。因みに正岡兄は正岡子規  
の末裔。午後は今年度初めて  
の教会委員会。永谷司祭が札  
幌から駆け付けました。  
二九日、施設へ入所してい  
る安藤三名子姉の所へ永谷司  
祭、畠山洋子姉がお見舞いへ。  
聖餐式と祈りの時が持たれま  
した。姉妹はお元氣な様子。  
幼稚園はいつもより長い夏  
休み。二七日から二学期です。

また、礼拝後のマルコ食堂  
に続き教会墓地礼拝が行われ  
ました。炎天下にも拘らず、  
三七名の関係者が参加いたし  
ました。

▽釧路聖パウロ教会

二二日午後七時過ぎ、マル  
コ教会の重鎮ステパノ斎藤混  
さんが九七歳の人生を終え主  
の元に旅立たれました。混さ  
んの魂の光明と平安をお祈り  
するとともにご家族の慰めを  
お祈りします。

今年から保育園の全室に  
クーラーが利くようになり、  
心地よく過ごしています。九  
月の七日の運動会に向けて皆

チャントが復活。コロナ禍以  
前に唄っていたチャントと  
は、メロディが変更になった  
部分もありましたが、新版  
「チャント集」の小冊子も配  
布され、また、前月末に練習  
したこともあって、本来の聖  
餐式に戻る事が出来ました。  
やはりチャントをちゃんと歌  
う聖餐式はいい。改めて、脱  
コロナを実感した次第です。

八月最終週は恒例の墓地礼  
拝の日。明治二七年三月の猛  
吹雪の中で殉教した水科五郎  
伝道師碑、紫雲台墓地、さら  
にはパウロ教会のお墓のある  
北斗霊園で礼拝。例年通り信  
徒だけでなくご遺族も参加し  
て、逝去者の安らかな眠りを  
祈りました。晴れで良かった。

▽厚岸聖オーガスチン教会

聖霊降臨後第一主日。釧  
路は「みなと祭り」で大賑わ  
いでした。この日の福音書、ヨ  
ハネによる福音書、五千人  
の人々による給食の記述に思  
わず「みなと祭り」の人物を  
想像してしまいました。

この日から三年半ぶりに

八月二五日(日) 聖霊降臨  
後第一四主日。夏のおわり、  
札幌キリスト教会より六名の  
方が出席、池田司祭と親しい  
方々。聖餐式後、懇談のとき  
を持つ。思いの外、回復した  
池田司祭との再会を喜ぶ。

八月三〇日(金) 午後、笹  
森主教さま来樽。今後の聖餐  
式の予定等を話し合う。  
▽稚内聖公会伝道所  
以前からの懸案であった傷  
みの激しい外壁の補修につい  
て、計画を進めています。補  
修によって、月に一度の礼拝  
であっても、さらに安心して  
建物を使用できることを待ち  
望んでおります。特に冬の風  
雪から守ることが最大の目的  
です。どうぞお祈り下さい。

▽帯広聖公会

八月三日、佐々木長太郎さ  
んが逝去されました。六日、  
広島原爆犠牲者の追悼点鐘礼  
拝。九日、長崎原爆犠牲者の  
追悼点鐘礼拝。一日、み言  
葉の礼拝。一八日、聖餐式の  
あと久々に親睦バーベキュー  
パーティーが開かれ、二九名の  
参加がありました。同日、信

徒小林達子さんが逝去されま  
した。故人の魂の平安をお祈  
りします。一九〇二二日に牧  
師館前の土留工事が行われ、  
今後の安全と美観が確保され  
ました。二五日、聖餐式後に  
佐々木長太郎さんのお別れの  
会が行われました。故人の魂  
の平安をお祈りします。  
▽苫小牧聖ルカ教会  
苫小牧ではあまり経験しな  
い真夏日が続いた。しかも海  
が近いだけに蒸すこと甚だし  
い！  
八月三日付けで、ユニアス  
野口壘、コルネリウス野口周  
が帯広聖公会より教籍が移さ  
れる。  
四日礼拝後の教会委員会に  
おいて、九月より第一主日に  
チャントを礼拝中に少しづつ  
復活させることに。  
六日、九日、平和を覚える  
平和点鐘礼拝が行われた。  
一九日、ルカ幼稚園夏休み  
を終え始業式。二学期中の保  
育の平安を祈る。  
二〇日、司祭月形刑務所教  
誨奉仕。司祭は八月中に室蘭  
函館、今金の各教会への礼拝

奉仕。

洗礼準備会が始まっている。祈

▽札幌キリスト教会

四日バザー委員会、九月一六日に行われるバザーの準備が本格的に始まる。

九日〜一二日まで函館で行われたユースキャンプに当教会から六名が参加、永谷司祭も引率で同行、一日の礼拝は越山健蔵司祭が司式と説教をしてくださいました。感謝。

二五日、北海道マラソンに伴う交通規制のため、礼拝出席者は二九名といつもの半数以下でしたが、これを機に行きたいと思っていた他の教会や、規制に掛らずに行ける教会に行くなどし、普段とは違う交わりとお恵みをいただいた信徒も多数おりました。

▽札幌聖ミカエル教会

二日から毎年恒例の有珠キャンプに今年も沢山の子ども達が参加。たつぷりと日焼けして帰ってきました。一四日、兄弟安藤利雄さんがご逝去。帯広からの信仰の導きに感謝。一八日は全逝去者記念

礼拝、墓地礼拝をお捧げしま

した。小中学生を対象とした夏休みの勉強会を三日間実施、約二〇人の子ども達が毎日元気に通って二学期の準備を一緒にできました。幼稚園も二〇日で夏休みが終了し、元気な声が帰ってきました。三〇日には年長さんのお泊まり会で一日幼稚園で先生と子ども達が過ごしました。

▽新札幌聖ニコラス教会

例年より過ごしやすかった

のか暑かったのか、よくわからなかった今年の夏でした。学校は夏休み期間というところで、近隣のミッシン系高校の学生さんが礼拝に参加されていましたが、今年はいつもとちよつと違って、お母様や祖母の方と一緒に姿が見られました。食い入るようには司祭の司式をご覧になっているご家族の様子は、とても新鮮でした。また、「ハンドベルコンサートはもうやらないのですか」などと聞かれ、地域の行事として楽しみにされていたことが窺えて、地道な活動の大切さを感じました。

また建物の老朽化に伴い、

予定していなかった修理修繕、暖房器具の交換などに迫られ、費用の工面に悩みますが、自分たちの教会を自分たちで支えるという意識の共有が必要であることを、折に触れ確認しています。

▽聖マーガレット教会

八月四日聖霊降臨後第一主日、笹森田鶴主教の出席を頂き、全逝去者記念礼拝で聖マーガレット教会に在る兄弟姉妹の方々全てのお名前を読み上げ、共に聖餐の恵みに与りました。その後藤野聖山園共同墓地にて礼拝。若い皆さんの協力も得て無事テントを張り、暑さを避けることが出来ました。六日広島・九日長崎原爆、一五日終戦記念日、

神様の御心を忘れた人間が引き起こした過ちを、主よ許してください。今もまだ戦いが止みません。聖霊なる神様の平和の息吹をください。

▽函館聖ヨハネ教会

一日、大沼で開催中の教区ユースキャンプ参加者一六名が礼拝に出席。笹森主教司

式、東北教区・渡部司祭説教、

永谷、上平、両司祭補式で聖餐式が行われた。出席者六七名。愛餐会の後、今金での聖餐式に向かう。

二四日、当教会GFS主催の夏の子どもイベント開催。午前は白玉だんご、どらやき、おにぎり作り。午後は中村まゆみ姉指導でリサイクル布を使ったタペストリー製作に熱中。四人の子どもたちは初めて見るミシンに大興奮。

この日夕刻有志により、帯広へ転居される橋本論さんの送別会開催。一品持寄会に二〇人参加。彼のためまぬご奉仕と優しい人柄のお陰で何とも言えないホットな宴となりました。神様に感謝。

▽平取聖公会

八月第一週の説教で内海司祭は、今年B年は主にマルコが読まれているが、今週からはヨハネの第六章の七〇節までが四週にわたって読まれますと始められました。数々のイエスの奇跡の物語の最後に弟子たちが「永遠の命の言葉を持っていてるのはあなたで

す」と宣言して真夏の熱い説教は終わりました。感謝です。

礼拝で毎週お祈りを続けて来た聖職志願者の祈りが叶えられ、志願された横山光紀さんの今後の歩みのためにお祈りを重ねます。

▽網走聖ペテロ教会

網走も高温多湿の夏ながら

四日は、程良い涼しさの中で全逝去者記念礼拝及び墓地礼拝を終える。二家族が、東京在住の長男夫妻と共に出席。一日は、林義人兄が証を担当。防風林に囲まれ葦が背丈よりも茂っていた頃の墓地の様子や、横浜教区故清家智光司祭の聖公会新聞連載牧会談義で、葬儀について学んだ事と今の思いを語る。一八日は、空路トラブルを乗り越えてフィリピンから直行の笹森主教巡回。墓地も巡り祈ってください。ファミリーホーム

のあの子ども達とも交わられる。

## ▽紋別聖マリヤ教会

八月に入り、オホーツク地方も例年になく猛暑による高温多湿の日々が続いており、牧草も成長が早くロール(通称コロコロ)も頻繁に収穫しています。一日、飯野司祭による聖餐式。愛餐会の後、墓地礼拝。ちようどお盆時期と重なり、市営墓地は大混雑。信徒の墓石の近くまで車で駐車できるはずが、少し離れた所の他の墓石の前に駐車。なんだか申し訳なかったです。月末よりゲリラ豪雨に見舞われ、渚滑川もかなりの水位上昇が発生しました。

## ▽留萌キリスト教会

夏らしい暑さが続いた八月でした。一日は主日聖餐式に続いて教会墓地で逝去者記念の式を行い、信徒、関係者の墓所を巡って祈りを捧げて参りました。

この日、旭川から来てくれた藤井一麻君(小学三年生)の成長に皆で驚いたり喜んだり、お昼は炭火で焼き肉会をして夏の日の交わりを楽しみました。

## 金岩美穂子さんは九〇歳の

誕生日を迎えられました。これからも神様からのお恵みの日々を過ごされますように。

## ▽有珠聖公会

八月一日、聖餐式。主の祈りと平和について、説教を通して学びました。礼拝後のお茶の会には、スイカの差し入れがあり、夏の涼を楽しみました。教会の参道は、アジサイが満開です。

## 八月二日、ハンナ刑部セ

ツ子さんが逝去されました。召されし霊の平安とご遺族の慰めを、お祈りいたします。

## ▽今金インマヌエル教会

八月一日の礼拝には、ユースキャンプに参加の若者達と藤井家の皆様が加わり、礼拝堂が沢山の人の汗とやる気に満ちたとても有意義な時になりました。

## その後、神丘構造改善セン

ターに場所を移し、ラッキーパーピエロハンバーガーとらいでんスイカの夕食を囲み、久しぶりに若いエネルギーを浴びて元気を頂きました。また二五日の礼拝では、松井司祭

## と奥様が遠方よりお越しくだ

さり、心より感謝致します。私達も同様、物忘れには悩まされますよね〜!!笑

## ▽室蘭聖マタイ教会

八月に入り、例年より暑さが続きました。温暖化の影響でしょうか。

## 八日ヨブ記輪読会。ヨブと

三人の友人との関係を話してください。一日主日礼拝は松井司祭のもと守られ、聖餐に与りました。

## 二二日午後望洋台にて墓地

礼拝。庭山裕子さんが早く来てお墓の清掃、廻りの草むしり等してください助かりました。心より感謝。小雨の中先達者の方々を偲び祈りを捧げました。

## 二二日主日礼拝。松井司祭

来会。説教でイエス様の命のパンについて縫いぐるみのアパンマンを持参し、解りやすく説明してください。聖餐に与りました。感謝。

## ▽新冠聖フランシス教会

今年の夏は暑い暑いと言いつつながら八月も終わりそうです。八月一日の主日礼拝は

## 「逝去者記念聖餐式」で、当

教会に関わる全逝去者を記念いたしました。また、礼拝後に地下納骨堂にて逝去者記念式を執り行いました。八月

## 一五日本曜日には新冠町泊津

と判官館の墓地において、各信徒宅の墓前礼拝を行いました。暑い最中、司祭様、参列されたご家族の皆さまご苦労様でした。

## これから一日一日涼しくな

ります。高齢になると体調管理がしにくくなるそうですが、気を付けて過ごしましう。

## ▽深川聖三一教会

八月四日委員会で主教様の巡回日を相談。墓地礼拝、一三日納内、丸山、一四日深川、一五日内園、音江の各墓を巡りし各家の霊魂の平安を祈る。一八日「どさんこデユオコンサート」菊人三恵さんと長谷川(小貫)光栄さん出演。旭川と深川の教会協賛。

## 二二日保育園職員会議、園内

研修は佐藤保育士による「便秘について」指導。二五日管理牧師下澤司祭ご来会、卓上

## に岡本園長の蛇退治のお礼の

西瓜がならべられる。二九日チャプレン会議、講話越山健蔵司祭。三一日留萌キリスト教会で教区主催の宣教一五〇年記念の黙想会、三名参加。感謝。

## ▽北見聖ヤコブ教会

吉野司祭さんの時に立てられた納骨堂前にて八月一八日に墓地礼拝が行われた。この祈りの時は、荷物の運搬、送迎、納骨堂内の聖具の出し入れ写真係など多くのご奉仕で守られている。新しく入られた四名の方々を含め二二名の逝去者名が読み上げられ、共に墓参の祈りが捧げられた。墓地で逝去者のために祈る時与えられる安らぎは、一つの神体験に違いない。

## 二四日、北見在住であった

方の逝去者記念の式が行われ、「縁(導き)の深さに共に心震えた次第でした。

